

平成25年11月5日

保護者の皆様へ

大阪府教育委員会

大阪府立高校の入学者選抜（入試）に英語の資格（外部検定）を活用することについて

大阪府教育委員会では、大阪府立高校の平成29年度入学者選抜<sup>※1</sup>（現在の小学校6年生が高等学校を受験する年度）から、英語の4技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」という能力を測る TOEFL iBT<sup>※2</sup>、IELTS<sup>※3</sup>、実用英語技能検定試験（英検）の3つの資格（外部検定）の成績を「英語」の点数に反映できることとします。

具体的には、下の表のとおり読み替え率で各資格をもっている受験生のスコア等を換算し、換算した得点と当日受験する学力検査の英語の得点とを比べ、高い方の得点を最終的な得点とします。

換算表	TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え率
大阪府立高等学校 入学者選抜 教科「英語」	60点以上	6	準1級	100%
	50点～59点	5.5	(対応無し)	90%
	40点～49点	5	2級	80%

※例えば、TOEFL で50点を取得していて事前に申請した受験生は、100点満点の英語の学力検査の90点の点数が保証されます。実際に入試の当日に受けた学力検査の英語の点数が90点を超えれば、その点数が最終の得点となります。

なお、受験生は全員、従来通り、入試の学力検査を受験しますので、入試そのものの方法には変化はありません。

この英語資格の活用については、大阪府立高等学校全校を対象に実施します。また、この制度の活用は、あくまでも、個人の努力により得られた資格について評価をするものです。

大阪府教育委員会のウェブサイトには詳しい内容を掲載していますので参照ください。

[http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/eigo\\_shikaku/index.html](http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/eigo_shikaku/index.html)

- ※1 府立以外の公立高等学校の扱いは、現時点では未だ決まっていません。
- ※2 トーフル・アイビーティー 米国で開発された英語能力判定テスト
- ※3 アイエルツ 英国で開発された英語能力判定テスト

ご質問・ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なく下記の担当までお問合せください。

担当	大阪府教育委員会事務局（高等学校課・小中学校課） 英語教育改革プロジェクトチーム
電話	06-6941-0351（内線4724） FAX 06-6944-6888
Email	kotogakko-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp